

関係医療機関管理者等 各位

鹿屋市新型コロナワクチン接種推進室

3回目接種における武田モデルナ社ワクチンの取扱い等について（お願い）

平素より本市の新型コロナワクチン接種推進に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今後、医療従事者等以外の住民に対する3回目接種が開始となることから、1・2回目の接種時と同様、各医療機関の御協力を何卒よろしくお願いいたします。

さて、標記の件について下記のとおりお知らせいたしますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

記**1 3回目接種におけるワクチンの取扱いについて**

○国からのワクチン供給状況に基づき、令和4年1月24日から2月28日までの間、ファイザー社ワクチンの配送量は1医療機関当たり「1週間に10バイアルを上限」とし、それを超える接種分については武田モデルナ社ワクチンを使用（ただし1週間に7バイアルを上限）していただきますよう、お願いいたします。

○なお、武田モデルナ社ワクチンのみを使用される医療機関についても1週間当たりの配送上限は7バイアルとし、当該量で不足する場合は個別に相談ください。

■国から市町村に供給されるワクチンは、これまでファイザー社のワクチンのみでしたが、国のワクチン保有状況や3回目接種の前倒し実施等に伴い、令和4年1月以降は武田モデルナ社のワクチンも供給されることとなりました。

■国が鹿屋市に示した1月～2月におけるワクチン供給計画（医療従事者分含む）においても、
・ファイザー社ワクチン：約14,000回分
・武田モデルナ社ワクチン：約19,000回分（1V=15回接種で計算） 合計約33,000回分
という比率になっており、武田モデルナ社ワクチンの供給量が大幅に増える見込みです。
※2月までの接種対象者（R3.7月に2回目接種を終えた者）数 36,900人

■このようなワクチン供給状況を踏まえ、令和4年1月14日に開催した「医師会・自治体協議」の場において、鹿屋市医師会及び肝属東部医師会等と協議を行い、このように取り扱うこととしました。
なお、3月以降の取扱いについては国からの供給量及び供給比率が示され次第、お知らせします。

■武田モデルナ社ワクチンはファイザー社ワクチンに比べて、「希釈作業が不要」、「1バイアル（1瓶）あたり15回以上の採取が可能※であるため、予約受付人数を柔軟に調整することが可能（※ただし、20回を超える穿刺は不可）」、「1度穿刺したバイアルでも、2℃～25℃の間であれば12時間の保管が可能であるため、ワクチン準備に係る負担が少ない」などの特徴がありますので、別添の参考資料も御覧の上、活用いただきますようお願いいたします。

2 ワクチン配送依頼書の様式変更について

武田モデルナ社ワクチンの配送開始に当たり、配送依頼書の様式を変更します。

「令和4年1月31日配送依頼分」以降の配送依頼については、別紙の様式を使用させていただきますよう、よろしくお願いいたします。

【担当】

鹿屋市新型コロナワクチン接種推進室（担当：藤田、寺田）
（電話/E-mail） 0994-45-4712 / wakuchin@city.kanoya.lg.jp